

5. 高血圧以外の原因による脳出血の治療

5-5. 脳腫瘍に合併した脳出血

推 奨

1. 転移性脳腫瘍のほうが原発性脳腫瘍に比べ脳出血を伴いやすく、mass effectを伴う大出血では手術が勧められる(グレードC1)。
2. 下垂体卒中により急激に視力、視野障害が悪化する場合は緊急手術の適応がある(グレードC1)。

●エビデンス

転移性脳腫瘍のほうが原発性脳腫瘍に比べ脳出血を伴いやすい。原発性脳腫瘍では膠芽腫が最も出血しやすく、転移性では肺癌、悪性黒色腫、絨毛上皮腫、hypernephromaが脳出血で発症しやすい¹⁾(Ⅳ)。緊急血腫除去術の適応はmass effectを伴う大出血の場合である¹⁾(Ⅳ)。

下垂体卒中により急激な視力、視野障害が悪化する場合は、直ちに経蝶経骨洞接近法で減圧する²⁾(Ⅲ)。

引用文献

- 1) Nutt SH, Patchell RA. Intracranial hemorrhage associated with primary and secondary tumors. Neurosurg Clin N Am 1992 ; 3 : 591-599
- 2) Bills DC, Meyer FB, Laws ER Jr, Davis DH, Ebersold MJ, Scheithauer BW, et al. A retrospective analysis of pituitary apoplexy. Neurosurgery 1993 ; 33 : 602-609